

2018～2019 年度  
国際ロータリー第 2510 地区ローターアクト

**海外研修 実施報告書**



**日 時** : 平成 31 年 1 月 18 日 (金) ~ 21 日 (月)

**場 所** : マレーシア (クアラルンプール)



## 海外研修のねらい・目的

- ・アクター相互の人間的なふれあいによって相互理解を深め、豊かな人間性を育てる。
- ・マレーシアの歴史的文化に触れるとともに、文化や歴史的遺産に接し多様な地域特性の違いを認識する。
- ・ローターアクトとして、この研修を通じて研修の意味を理解する。
- ・将来にわたり我が国の平和を築く一員となるための心と態度を養う。
- ・マレーシアのローターアクトとの親睦を深め交流する。
- ・海外研修の良き思い出を作る。

国際ロータリー第2510地区

ローターアクト代表 小野寺 知香



## 参加者

### 【ロータリアン】

地区ローターアクト副委員長	川 本 康 裕 様 (室蘭北ロータリークラブ)
地区ローターアクト副委員長	高 橋 耕 様 (札幌南ロータリークラブ)
赤平ロータリークラブ会長	宇 戸 啓 隆 様

### 【ローターアクター】

地区代表	小野寺 知 香 (赤平ローターアクトクラブ)
地区幹事	石 川 樹 (赤平ローターアクトクラブ)
地区代表ノミニ	上 浦 由 莉 子 (札幌南ローターアクトクラブ)
赤平ローターアクトクラブ	長谷川 大 介



## スケジュール

### 1月18日(金)

---

- 7:50 新千歳空港 【日本航空 JL3040】にて成田空港へ出発
- 9:35 成田空港到着
- 11:05 【日本航空 JL723】にてクアラルンプールへ出発
- 18:10 クアラルンプール国際空港へ到着 現地係員と合流しホテルへ(送迎付き)
  - ロータリアン → ホテル イスタナ
  - ローターアクター → サンウェイ プトラ ホテル
- 19:30 夕食

### 1月19日(土)

---

- ホテルにて朝食後、出発
- 10:00 ブリックフィールズ探索
- 12:30 バトゥ洞窟
- 15:00 合同例会、昼食
- 17:00 hean hou temple(天后宮)へ
- 19:00 klcc aquarium(水族館)、お買い物
- 20:00 夕食
- 21:00 klcc bridge(ツインタワー)へ

### 1月20日(日) - 21日(月)

---

- ホテルにて朝食後、出発
- 10:00 セントラルマーケットでお買い物
- 12:00 昼食
- 14:30 ペタリンストリート探索、お買い物
- 18:00 荷物を取りにホテルへ戻る
- 20:00 クアラルンプール国際空港へ到着
- 22:50 クアラルンプール国際空港【日本航空 JL724】にて成田航空へ出発
- ~
- 6:35 成田空港へ到着
- 18:35 【日本航空 JL3049】にて千歳空港へ出発
- 20:35 千歳空港へ到着

# 1日目



1月18日(金)

今年度の海外研修はマレーシアのクアラルンプール。

海外研修が行われるようになってから初めて訪れる国です。

参加者はロータリアン3名、ローターアクター4名の7名での開催となり、小野寺と長谷川は人生初の海外です。

1月18日、私たちは朝の早い時間から飛行機に乗って北海道を離れましたが、クアラルンプールについたのは同日18時頃でした。

この時期の北海道といえば…見渡す限りの真っ白な雪景色に、18時頃となれば日も沈み真っ暗なのが当たり前ですが、クアラルンプールの空港から出た瞬間に蒸し暑い空気を感じ、北海道では見ることができないヤシの木などを見て、「海外に到着したんだな…」と改めて感じました。

空港からホテルまでは現地のガイドさんと一緒に移動しましたが、時間も遅くなっていたため、夕食はホテルの近くにあったレストランで済ませることにしました。



マスクウーマンいってきま〜す！



こちらも仲良く出発進行！



腹ごしらえをしています。



クアラルンプール国際空港到着。



ホテルのロビーにて…



いただきま〜す！



マレーシアのヌードル



おいしかったですね〜。



マーケットで夜食のお買い物！？

# 2日目



1月19日(土)

2日目は、現地のアクターと合流し、はじめにブリックフィールズ（インド人街）を探索しました。

マレーシアは色々な国から人が集まるため、街中を探索しているだけでも、それぞれの国柄や宗教等たくさんの文化に触れることができました。

その後はバトゥ洞窟に向かい、入り口の大きなスカンダ神を臨みながら、272段の階段を上りました。

私達が訪れた時期はヒンドゥー教最大の祭「タイプーサム」が行われる時期と重なっており、たくさんの人が賑わい信者達の儀式・苦行が行われる様子は決して日本では見られない、貴重な経験でした。

昼食は合同例会も兼ねて行われ、マレーシアのロータリアンの方々も参加していただき、昼食後は東南アジア最大の中国寺院である天后宮と、水族館、そしてマレーシアの観光名所…ツインタワーへ連れて行ってもらいました。



これからよろしくお願ひします



お世話になります！



ブリックフィールズ



ブリックフィールズでぱしゃり。

バトゥ洞窟の中に入るとスーッと風が吹き抜け、野生のお猿さんや洞窟内にある寺院に驚きました。  
 マレーシアのロータリアンは比較的若い方が多く、ローターアクターと間違ってしまうことしばしば。  
 ホテルでの朝食も様々な宗教にも対応できるよう品数も多く、合同例会での昼食も美味しい料理がずらりと並び、ついつい  
 食べ過ぎてしまいました(笑)  
 お土産としてもっていったけん玉や、わさびのお菓子もとても大好評でした。  
 天后宮では旧正月をイメージした赤を基調とした装飾を見たり、屋外の干支の像の写真、西遊記に扮して写真を取ったり  
 など写真スポットも盛りだくさんです。



この階段をのぼると…？



こんな景色が…！



広い洞窟内



マレーシアのロータリアンと副委員長



合同例会始まります！



両地区代表です。



西遊記結成！



婚姻したときに来る場所らしい…



お馬さん×お午さん



水族館も日本とはまた違った雰囲気であり、日本では見られない魚たちや、内装もまた新鮮でした。  
あっという間に時間は過ぎ、ツインタワーへ。  
ツインタワーは言うまでもなく絶景であり、時間も遅かったのですが、観光客は絶えず。  
中には日本からのツアー客もいらしたようです。



ハイチーズ！



今にも食べられそうな…



お魚さんとハイチーズ！



昼のツインタワー



夜のツインタワー(笑)



ツインタワーポーズ



ご飯食べに行くぞーっ



みんな大集合



タイガービールいただきます！

# 3日目



1月20日（日）

3日目は、朝からセントラルマーケットに向かいました。

マレーシアに来る前から下調べしていたなまこ石鹸や、ホワイトコーヒーなど各々ほしいものを探し、日本ではあまり見られない「マーケット」という形のお店屋さんにも心躍らせながら買い物を楽しみました。

昼食もセントラルマーケットで取りましたが、この2日間で感じたことの一つとして、マレーシアでは基本的に一度にたくさんものを頼み、皆でシェアして食べるが多く、また日本とは違う文化を感じることができました。

昼食後はペタリンストリートへ向かい、現地のローターアクターに案内していただきました。

食べ物の出店からかばん屋さん、色々な屋台が並んだ道を、豆腐のジュースやココナッツのお菓子など、昼食後にもかかわらず、たくさん食べ歩きをしながら探索しました。

そして、私達はこの日の夜にクアラルンプールを飛び立つため、夕方にはホテルに戻りました。

とても楽しく学び、交流し、あっという間に過ぎてしまった3日間。

そして感謝してもきれないほどの「おもてなし」をしていただいた3日間でしたが、夜遅くにも関わらず現地のアクターが空港までお見送りに来てくださり、最後の最後まで感謝の気持ちでいっぱい海外研修でした。



セントラルマーケット前



ペタリンストリート前



ドラえもんファミリー～。



ごちそうがいっぱい…。



お見送りにきてくれました！



ロータリアンとも一緒に

おまけ

---



おまけ

---



## 『講評：海外研修報告書』

国際ロータリー第 2510 地区ローターアクト副委員長 高橋 耕 様

さる平成 31 年 1 月に RAC とともに海外研修に参加しましたので、ここにご報告致します。

1 月 18 日から 21 日までの 4 日間の日程でマレーシアのクアラ Lumpur にて、現地のローターアクト及びロータリアンと交流をしてきました。

こちらからの参加はローターアクト地区代表の小野寺さんをはじめとするローターアクト 4 名と、ローターアクト地区副委員長の川本さんをはじめとするロータリアン 3 名の計 7 名の参加となりました。

この時期のマレーシアは雨季とのことですが、全日程において最後に雨がほんの少し降りましたが晴天に恵まれ、30 度を越す気温の中での活動となりました。

現地に着くと 3300 地区のローターアクト地区代表をはじめとする RAC が市内を案内してくれ、マレーシアを楽しんでもらおうという気持ちが伝わり大変感銘を受けました。

二日目の昼、夜と彼らと食事をしながら、当地区ローターアクトも流暢な、はたまたかたことな英語で交流していました。

マレーシアにおいて、英語は第二外国語ということで我々にとっても聞きやすい非常なシンプルな英語のため、交流もしやすかったのではないのでしょうか。

3 日目のお土産の買い物にまでたくさんの現地 RAC が参加してくれ、市場でのお土産の購入の通訳をしてくれたり、荷物を見ていてくれたりと 2 日間にわたるコーディネートに頭の下がる思いでいっぱいです。

3300 地区との連絡を取り合っているとのこと、繋がったきっかけを絶やさず今後彼らの海外研修先に当地区がなることがあれば、同じこと以上のおもてなしをしてあげて欲しいなと感じております。

## 『初めての海外研修』

国際ローター第 2510 地区ローターアクト代表 小野寺 知香（赤平 RAC）

平成 31 年 1 月 18 日～21 日にかけて、参加ローターアクト 4 名、ロータリアン 3 名、合計 7 名で海外研修を実施致しました。今回の研修先はマレーシアのクアラルンプールです。

海外研修が始まって以来初めて訪れる国、そして私個人としては人生初の海外ということもあり、なかなか例年通りというわけにはいかず、たくさんの方にご協力・相談に乗ってもらいながら無事実施することができました。

クアラルンプールについては、北海道とはまるで違う気温や木々達に驚き、「きっとこの 4 日間のうちにたくさんの驚きと発見に出会えるのだな…！」と感じました。

4 日間の詳細については前段で述べさせていただいておりますので、今回は初めて海外研修に行かせていただいた一個人の感想としてご報告させていただきます。

はじめに海外研修を実施するにあたって大きく 6 つの目的があります。

その中で今回の海外研修で私が一番得たもの・達成することができたものとしては、「現地のアクターとの親睦・交流」と「相互理解を深め、豊かな人間性を育てる」だと思っています。

その二つを成し得たからこそ今回の海外研修が良い思い出となったのであろうと思います。

クアラルンプール滞在期間中には、現地のアクターから感謝してもしきれないほどの「おもてなし」を受けました。

私達が困らないように朝から晩まで付き添い案内や通訳をしてくれたり、英語が話せない私にも携帯のアプリやわかりやすい簡単な英語、ボディランゲージを使いながらたくさん話しかけてくれました。

そのおかげで、出発前から一番不安だった現地のアクターとのコミュニケーションの取り方についてはすぐに解消され、私自身「もっとみんなと話したい」と思い、積極的に話しかけられるようにもなりました。

さらに、交流・親睦の他にも今回の海外研修では、現地のアクターのご協力もあってバトゥ洞窟や、天后宮などクアラルンプールの歴史にふれられる名所にも訪れることができました。

日本にいたときから、クアラルンプールの歴史や名所に関して自分でも調べたり聞いたりはしていたものの、実際に行ってみないとわからないことがたくさんありますし、現地に訪れることで知り得る以上のものはないのではないかと思います。

私自身【海外】ということだけで大きな壁を感じ、憧れはあるもののローターアクトクラブに入会していなければ、海外に行く機会はなかったのではないかと思います。

海外研修が終わった今も、クアラルンプールで出会ったアクターとは関係は続いています。

このような機会を与えてくださったのも、日頃よりローターアクトクラブの活動にご支援いただいているロータリアンの皆さまや、一緒に行ってくれた、ローターアクターの皆さんのおかげです。

また、今年度マレーシアで海外研修を行うきっかけをつくってくれた上浦ノミニーには大変感謝しております。

APRRC に参加し、コネクトを作ってくれたこと…そして海外研修当日に至るまで現地のアクターと連絡調整をしてくれて、本当にありがとう！

最後になりますが、次年度以降も海外研修は継続されていく行事であってほしいと思っています。

今回私が海外研修で経験させていただいたことや海外研修の楽しさを、今いる当地区のアクターにも積極的に経験してもらいたい、限りあるローターアクトクラブの活動での素晴らしい思い出の一つとして残しておいてほしいと思います。

改めて、今回一緒に海外研修に行ってくれた皆さん、楽しい時間と思い出をありがとうございました。

また、同じメンバーで…（あわよくば、他のメンバーも巻き込んで）クアラルンプールを訪れることができれば嬉しいです。

次回訪れる時には、現地のアクターからいただいた「おもてなし」以上の「おもてなし」でお返ししましょう。（笑）

4 日間、皆さん本当にテレマカシ。

## 『最後の海外研修 in クアラルンプール』

国際ロータリー第 2510 地区ローターアクト 地区幹事 石川 樹 (赤平 RAC)

平成 31 年 1 月 18～21 日にかけて、マレーシア・クアラルンプールヘローターアクト 4 名、ロータリアン 3 名で訪れました。

私自身は 3 回目の海外研修でありましたが、過去 2 回とも行き先が台湾であったため、初めてのマレーシア訪問にワクワク感や、私以外のローターアクターは初めての海外研修ということもあり、ある種の使命感と少しばかりの緊張感を覚え、日本を出国しました。

8 時間のフライトを終え、クアラルンプールに到着すると、気温が 28 度という北海道の 1 月では考えられない気候や熱帯らしい植物、そして想像以上に発展している街並みや高層ビルがとても印象に残っています。

具体的な交流内容や行き先等は報告書のとおりですので、ここでの詳細は割愛しますが、今回の 4 日間は約 8 年のローターアクト生活の中でも特に思い出深い、そして楽しく充実したものでありました。

その理由として、1 つ目はこれまでに比べ、現地のローターアクターと英語でよりコミュニケーションをとることができたことです。

過去 2 回の台湾での海外研修では、通訳できるメンバーがいたり、台湾のローターアクターに気を遣っていただいて、わざわざ翻訳アプリや覚えてくれた日本語で助けていただいたりと、自分 1 人の力では到底コミュニケーションをとることができませんでした。

ようやくボディランゲージや英単語だけで、その後の交流も何とかできている状況ですが、心のどこかでは申し訳なさでいっぱいの日々を過ごしてきました。

今回も英会話ができるメンバーがいましたが、最後くらいは自力でコミュニケーションできるようになりたいと誓い、英会話集を購入して自宅などでできる限り勉強しました。

その成果なのかどうかは何とも言えませんが、メンバーの手助けがあったものの、個人的には積極的に英会話できたり、お土産店や飲食店、空港などで臆することなく英語でコミュニケーションできたと感じています。

よくローターアクトでは「失敗して良い」と言われますが、今回は過去の経験や反省を生かして、海外研修の目的を少しは達成することができたことが大きな要因と思っています。

2 つ目は、今まで訪れたことのない国を訪問する高揚感や新鮮さを改めて味わうことができたことです。

正直、何年もローターアクトに在籍すると、何度も同じようなことを経験することもあり、マンネリを覚える瞬間があります。

しかしながら、在籍最終年度でこのような新たなチャレンジに携わることができ、仲間とともに充実した時間を送ることができる楽しさを改めて感じさせていただくことができ、残りのローターアクト生活の大きなモチベーションとなると思います。

3 つ目は、この海外研修を通じて、「やっぱりローターアクトは良いなあ、素晴らしい！」と純粋に思えました。

このような機会を通じて海外の友人が増え、またローターアクターやロータリアンとの友情がさらに深めることができ、仲間とのつながり、異なる環境で自分を高めることができる時間…全てが自分の財産となっています。

そのような経験をたった 4 日間ではありましたが、その財産をさらに増やすことができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

まだまだ紙面では書ききれない感想がたくさんありますが、会長幹事会や例会、その他の場面で後輩たちに生の声を伝えていきたいと思っています。

そして、この感想を見ている後輩のローターアクターに対して、伝えさせてください。

よく「海外研修はロータリアンから補助が出るから、安く海外に行けるよ」と、数年来決まり文句のように言われていると思います。

確かに、地区ローターアクト委員会や提唱ロータリークラブから予算付けされて補助が出ており、プライベートで海外へ訪れるよりは安価で参加できます。

しかしながら、「研修」という名目で実施している以上、「成果」がないと補助をいただいた意味がありません。

私はこの補助金には「ローターアクターが若いうちにたくさんのお見聞を広め、海外を訪れるからこそできる学びや経験してほしい」という、ロータリアンの皆さまのメッセージが込められていると思います。

その意味を、私を含め今回参加した 4 人のローターアクターはたくさん感じる事ができたと思います。



ぜひ今回の参加者はその様子や経験、学びを各クラブの例会等で他のローターアクターに熱く語ってほしいと思います。  
それを聞いて、今回参加していないローターアクター（特に、海外研修に参加したことのない皆さん）は、決して他人事と思わないでほしいと思います。

話を聞けば、興味が湧く内容や詳しく聞いてみたいこともあると思います。

ぜひそれは「百聞は一見にしかず」ではないですが、実際に参加してみて、自分で味わってほしいと思います。安い参加費ではないかもしれませんが、お金以上の学びや経験、そしてお金で買えない人脈や財産を得ることができるということは、確信を持って言えます。

次年度、日程や訪問先はどこかは今後決定していくと思いますが、ぜひ少しでも興味があれば積極的に参加し、普段の活動では味わうことのできないことを経験してみてください。

終わりになりますが、今回海外研修参加にあたりサポートしていただいた川下地区ローターアクト委員長をはじめとする地区ローターアクト委員会や提唱ロータリークラブの皆さま。

ご参加いただいた川本ローターアクト副委員長、高橋地区ローターアクト副委員長、宇戸赤平ロータリークラブ会長。

たくさんのおもてなしをしていただいたマレーシアのローターアクターやロータリアンの皆さま。

素晴らしい海外研修を企画し、素敵な時間を作ってくれた小野寺地区代表、自身の英語力を生かし、連絡や通訳等サポートしてくれた上浦地区代表ノミニー、初めての海外研修で常にハイテンション、次年度も参加を表明している爆買い王こと赤平ローターアクトクラブ長谷川くん…

こんなにも素晴らしい財産と思い出を作ってくれた全ての方に感謝申し上げます。

皆さまのおかげで素晴らしい海外研修となりました。ありがとうございました。

追伸

もう二度とバトゥ洞窟の階段は登りません。笑

## 『海外研修に参加して』

国際ロータリー第 2510 地区ローターアクト 地区代表ノミニー 上浦 由莉子（札幌幌南 RAC）

19日はKLセントラル駅の近くのブリックフィールズと呼ばれるインド人街を探索し、マレー系、中華系、インド系がそれぞれ混ざり合いすぎることなく独立しているマレーシア、という国の一面を垣間見ました。その後バトゥ洞窟に行き、272段もの階段をあがりました。ちょうどこの時期はヒンドゥ教最大の祭「タイプーサム」が始まる2日前というのが関係していたのか、神輿のようなものをついだ男性が階段を登っており、大変興味深かったです。また、洞窟を登る途中には猿がいましたが、洞窟を境に全く見当たらず、神聖さが際立っていました。

合同例会では多くの現地アクターに歓迎していただきました。最初の料理を箸をもってみんなで囲み、ぐちゃぐちゃにしながらお願い事を唱えたのですが、これはマレーシアの旧正月（中国正月）の時期に行われる料理で、新年を祝う意味で行なうそうです。幸運にも、このようにインド系のお祭りや中華系の旧正月の文化を味わうことができました。また、合同例会でバナー交換やお土産（おてだま、けんだま、日本らしいお菓子など）を渡しましたが、わさびのお菓子が大変好評であったのが意外でした。マレーシアでわさびは有名で、好きな人が多いそうです。

昼食後は東南アジア最大の中国寺院である天后宮を訪れました。装飾のランタンが綺麗で、また、寺院の外には干支の動物の像があり、その干支の特徴を表す漢字が書かれてあって、自分に合う漢字を探すのが楽しかったです。

夕方以降はKLCC（クアラルンプールシティセンター）で水族館を楽しみ、夕食を現地のローターアクターやロータリアンと共にとった後、452mあるペトロナスツインタワーに昇り景色を楽しみました。このツインタワー、実は一方を日本が建てたことで有名な建造物で、マレーシアと日本との関わりに触れる貴重な機会となりました。そして、この1日で古き良き、一方で近代の様々な歴史や文化に触れることができました。

20日はセントラルマーケットで昼食をとり、なまこ石鹸などマレーシアならではのお土産などを買った後、中華系の屋台が並ぶペタリンストリートを案内してもらいました。普段のローターアクトの活動のことや、お互いの職業（学業）のこと、普段の生活、趣味や好きなものなどを話しながらその前日に初めて会ったとは思えないほど仲良くなり、別れが名残惜しかったです。また絶対に彼らに会いに行こうと決めました。

今回お忙しい中引率くださいました川本副委員長、高橋副委員長、宇戸委員、そしてマレーシアでの研修を晴れ女の力で良くてくださった小野寺代表、0日目に猛吹雪でJRが動かず閉じ込められている私をレスキューしにきてくださった石川幹事、今回一番マレーシアとの交流を盛り上げてくださった長谷川さん、大変感謝しております。お一人でも欠けていたら、今回の研修はこれほど実りあるものではなかったと感じております。本当にありがとうございました。

また、今回の海外研修は、昨年7月のフィリピンでのAPRRC（環太平洋国際会議）でマレーシアのアクター、Benさんと出逢ったのが始まりでした。彼や他のアクターには合同例会の場所の準備や観光地の選択の手伝い、当日の観光地の引率等を行なっていただきました。普段あまり使う機会のない英語でのやりとりは勘違いや見落とし、伝え漏れ等が多く、幾度となく迷惑をかけてしまいましたが、このように素晴らしい研修になったのは、マレーシアのアクターの皆様のご尽力もあってのものです。ありがとうございました。

## 『マレーシア海外研修 報告書』

国際ローター第 2510 地区 赤平ローターアクトクラブ 長谷川 大介

平成 31 年 1 月 18 日（金）～21 日（月）にかけ、マレーシア海外研修へ参加しました。

マレーシアではクアラルンプールに滞在し、クアラルンプールのロータリアン、ローターアクターの方々と交流し、国際交流の意義や国際活動の役割等、多くの事を学ぶ事ができました。

私自身は海外へ渡るのが初めての事で、海外のロータリアン並びにローターアクターと交流する事が初めてでした。

交流や活動に合わせ、この研修での学びや体験を、ご報告致します。

マレーシア人の殆どの方は、世界共通の英語が当たり前の様に話せ、聴く事ができます。

私を含め日本人の語学力の低さを痛感致しました。世界の大多数の地域では、日常英語を用いて会話ができるような授業が多くあります。

福祉の業界で日常英語が必要になる事があるかは解りませんが、将来の地域性や事業経営において、英語が必要となる場面も想定できました。

クアラルンプールのローターアクター全員が、分け隔てなくコミュニケーションを取れる印象がありました。

初対面にも関わらず、積極的に交流する事や親切心があり、日本では感じた事の無いような、明るさも見られました。

何よりローターアクトというチームで、一丸となり活動に取り組んでいる印象です。

職場においても支援のチームがあります。このチームを施設の方針に沿い、進展させる事として、どれだけ横の繋がりが持てるかが鍵となります。

仲間を大切に事、思いやりを持つ事がチームにおける「報告・連絡・相談」へと結びつくと再認識する事ができました。

クアラルンプールのローターアクトで実施している大きな活動の 1 つが環境保護です。

地域開発や商業、観光業の発展が進むにつれ、多くの自然や生命体に影響を及ぼします。

マレーシアは自然が多く、現段階では大きな懸念課題ではありませんが、永続して環境を守る必要があります。

ウミガメ（他の海洋生態含む）の生命保持の活動として、廃棄物を減らせないかと考え、ストローに着目しました。

現地や世界的にもストローは使い捨てとなる物です。

金属製のストローと洗浄ブラシを開発し、多くの方々へ広めていっております。

そのストローを実際に研修場所でも使用しており、持ち歩いているローターアクターもあり、1 つ 1 つの活動が将来の国や地域を支える物と感じました。

赤平においては、年に 2 回のゴミ拾い、保育所交流会、福祉施設ボランティア、企業看板作成等を行っておりますが、クアラルンプールの活動より、自分達に他に何かできる物はないかと考える機会にもなりました。

「企業が地域に、地域が企業」に相互関係をもたらす事が、互いの発展になると、海外のアクターから刺激を受ける事ができました。

この研修で「楽しかった」「思い出を作れた」等、五感で様々な事を感じる事ができました。

国際ローター第 2510 地区（赤平・札幌・室蘭）の参加ロータリアン、ローターアクターと共に参加する事で、コミュニケーションの幅が広がりました。

ロータリアンの方との話では、社会性を養う事でき、仲間のローターアクターとは一緒に活動を分かち合う事ができました。

特に年下のローターアクターが増え、教えなければならぬ立場になりますが、後輩から学ぶことや気づかされる事が多くありました。

前段でも記入しておりますが、先輩や後輩など立ち位置が多少異なっても、同じ仲間であることに間違いないと確信する事が出来ました。

最後に、一緒に行ったローターアクトのメンバーの事を更に好きになる事ができました。

一緒にいる仲間を大切に、様々な活動を共に行いたいと感じております。

この思い出を心に刻み、I LOVE ROTARACT の精神で進みます。

たつき兄さん、ちかちゃん、ゆりこちゃん 最高です。

◆MEMO◆



◆発行年月◆ 令和元年6月

◆発行元◆

国際ロータリー第2510地区ローターアクト  
海外研修参加者代表 小野寺 知香